



## プレビュー

第 11 回目課題(オンライン入力レポート)	
課題に関する説明	<p>以下の設問にオンライン(直接)入力で答えてください(字数の制限はありません)。</p> <p><b>【課題のねらい】</b>            今回の課題は昨年度に実施した「一日ババママ体験事業」から出題します。            本事業は兵庫県と神戸新聞社がタッグを組んだ子育て支援事業で、実際にみなさんの先輩が参加しました。            今年度も実施する予定で、本当はぜひみなさんにも体験してもらいたい事業だったのですが、残念ながら昨今の状況で叶わずに終わってしまいました。            そこで、今回はみなさんに「こんな取り組みがあるんだ!」と本事業を知っていただき、機会があれば来年度ぜひご参加いただけますと幸いです。</p> <p><b>【課題の流れ】</b>            下記の流れに沿って課題に取り組んでください。</p> <p>①下記 URL にアクセスし、「事業紹介」動画を視聴してください。  <a href="https://youtu.be/cGbm8_nMiC4">https://youtu.be/cGbm8_nMiC4</a></p> <p>②添付ファイルの新聞記事を読み、下記 URL にアクセスし「座談会」動画を視聴してください。  <a href="https://www.kobe-np.co.jp/rentoku/movie/new/202003/0013174767.shtml">https://www.kobe-np.co.jp/rentoku/movie/new/202003/0013174767.shtml</a></p> <p>③①②を踏まえて、本事業についての感想を述べてください。</p>
受付開始日時	2020-12-18 13:00
受付終了日時	2020-12-25 13:00
受付終了後の提出	許可する ( 8099-12-31 23:59 )
ポートフォリオ / 閲覧設定	ポートフォリオに追加 / 提出者本人と教員のみ閲覧・コメント可
学生による再提出の許可	再提出を許可する
添付ファイル	<p>11-2. 補足資料 (2019一日ババママ体験座談会新聞記事) .pdf - 2020-12-18 07:44:17</p>

[https://kobe-tokiwa.manaba.jp/ct/course\\_101909\\_rptadmpreview\\_177482](https://kobe-tokiwa.manaba.jp/ct/course_101909_rptadmpreview_177482)

【家庭支援論】 一日パパママ体験事業に関するレポート (2020.12.18 実施)

1	<p>パパママになって体験することによって、育児の大変さや両親の大変さがより分かるのではないかなと思いました。私は、この活動を体験してはいませんが、おうちで家事をしていると母親の大変さが身に染みて分かるので、パパママがするようなことを1日体験させていただけるというのは、もっと大変なんだろうなと思いました。</p>
2	<p>現役のお母さんやお父さんからリアルな育児におけるリアルな声を聴くことが出来るのは今後の生活に役に立つと感じます。</p> <p>授業内では経験できない貴重な体験だと感じます。</p> <p>普段子供と接する機会が少ないため、このような機会は少子化の現代社会には良い機会なのだと感じます。</p> <p>インタビューしていた学生も最初は子育てに対して不安や良いイメージを持っていなかったが活動を経験して、良いイメージに代わっていたのは活動として良いものだと感じました。</p>
3	<p>家に行って1日パパママ体験をすることは学生にとってとても貴重な体験になると思いました。実際に育児などを見て体験させてもらうことによって、保育所や幼稚園では分からない子どもの様子や関わり方を学ぶことができ、保護者の方へのアドバイスや話を今までより深く話せると考えました。体験をとおして、「育児ってうまくできるのかなあ?」「育児ってイメージできない」といった不安や疑問を解消し、育児を身近に感じてもらうきっかけづくりになると考えます。それだけではなく、歳の離れた兄弟をみる場合もあり、遊びの興味が違うのでうまく関わる方法なども自分で見出していかなければならないので、さまざまなことが学べると感じました。子どもたちと関わる中でわからないことがあればすぐに保護者の方に相談でき、育児体験することができるのはとても良い経験だと感じました。体験をすることで不安だったことがよい印象へ変わっていたので、1日パパママ体験に参加してみたいと思いました。</p>
4	<p>実際に1日パパママ体験事業をに参加し、体験することで、子どもの家庭での様子を把握できるので、より良い支援やアドバイスをすることができると思います。園での様子だけでなく、家庭でしか見ることができない姿を見て学ぶこともあると思うので、そのような体験をしておくことはとても大切だなと思いました。そしてそこから学んだことを実際の保育や、保護者の方へのアドバイスや支援に取り入れ、保護者の方がより安心できる環境になると感じました。</p>
5	<p>○本事業についての感想</p> <p>結婚をして出産をして、実際の家庭を持つ前に、実際の子育てに触れることはとてもいい経験だと感じた。兄弟間の年齢差による発達段階の違いで、遊びたいことが異なること、教育を学ぶ学生でもわからない子どもへの対応などが感想にあった。インタビューの中で、教育学生や保育学生以外の人も子育てをするという言葉があって、当たり前なことだが改めて子どもを授かった誰もが親になって子育てを行うということを実感した。実際に私の親も私のように教育については学んでいないが、私も妹の2人の子どもを共働き家庭の中で育ててくれた。色々な家族の形があって、色があって、その中で子育てを行っていくんだということを再確認できた。</p>
6	<p>「一日パパママ体験事業」に関する動画や資料を通して、とても良い機会を得られる場だなと感じました。これは、保育者を目指す者にとってはもちろん、保護者の意見をより詳しく知ることができるので良いと思いました。また、保育者を目指す人でなくても、具体的な子育てのイメージや明るい家庭の雰囲気を知ることができて、晩婚化・未婚化、少子化の解消になるのではないかと考えながら動画を見ていました。</p> <p>私の家には、小学生二人と2歳児がいるので、毎日子育ての大変さを感じています。しかし、このような環境もとても恵まれているのだと動画を見て感じました。自分の家だけでなく、他の家庭を見ることでも、新たな発見があると思うので、ぜひ参加したいなと思いました。</p>

7	<p>今回、一日パパ・ママ体験事業を始めて知りました。実際に子育てを家庭に入って経験することによって、保育者になる上でも家庭の雰囲気や困りごとを掴む機会になるし、自分自身のライフスタイルにも影響してくる機会になると思い、是非参加したかったです。家庭は十人十色なので、入る家庭によってイメージや考えることは違って来るかもしれないけれど、そこで感じたことや困ったこと、悩んだことが保育者になってから、もしくは母親になってから生かされると思いました。私自身は恵まれた環境に生まれたため、家庭を持つことや結婚にはとても良いイメージがあり、幼い頃から結婚願望や子どもを持つことに肯定的でした。今の時代は、女性も働き、核家族化が進み、不安は人によって様々です。地域の中で孤立することで、相談相手がいない、支えてくれる人がいない、そして虐待に繋がってしまうかもしれません。そのためにも、このような事業に参加して子育てのイメージを実際に目にして身体で感じることは、これからの若者の子育てに対する考え方が大きく変わるきっかけになると思いました。そして保育者になる上でも、子育ての大変さや楽しさなどを感じることで、現場に入った時に少しでもパパ・ママに共感する、寄り添うことができる存在になれると思いました。</p>
8	<p>自分の将来を考えていく上で「結婚」「子育て」というワードは必ず出てくる。私は正直「結婚」も「子育て」も今の自分では出来ないと考えている。身の回りのこともできていないのに結婚生活を送り子育てなんてできるのかと。しかし本事業を経験することで、その気持ちが少しは軽減されたり子育てのリアルを知りそれに対する対策を自分のなかで考えることが出来るので「結婚」「子育て」が身近に感じられるのかなと思えた。私も20代に入り「結婚」「子育て」を経験し始めた友達も出てきてそれらのワードはそう遠くないものになってきた。自分の将来を改めて見つめ直すきっかけにもなると考えた。</p>
9	<p>この「一日パパママ体験事業」を体験することはとてもいいことだと思いました。保育所や幼稚園では体験することのできない家庭での保育の仕方を知ることができると思いました。またパパ・ママの「こんなところに苦労した」「こういう工夫をした」など実際の育児の悩みや工夫が生の声で聞けるのでとてもいいことだと思います。子どもと遊ぶだけではなく、保護者とも実際に関わることで実習では知ることのできなかつたことも学べると思っています。インタビューや実際に行った学生での話にもあるように自分が知りたかったことが聞けるのもメリットだと思います。この体験を通じて今後自分が子どもを産み育児をする時の参考にもできると思いました。</p>
10	<p>今までは、子育てというと親が子どもを育てるというイメージしかなかったが、子育てをする中で、子どもでも年齢によって考え方や行動、知識、言葉など全然違ったり、子どもに様々なことを教えてもらうのだろうなと思った。そして、子どもだけでなく、親も一緒に成長できるのが子育てなのかなと感じた。</p>
11	<p>教育学部の学生は乳児や幼児についての学習をしているためある程度知識は身につくだろう。しかし子育ての知識があっても実践する機会が中々ないため子育てに対する不安が大きいと考える。男性であったりそもそも子育てに関する知識がない人にとってはなおさら不安は大きくなる。その不安が実際に悩みやストレスにつながると最悪の場合虐待や育児放棄などにつながってしまう。今回の子育て支援事業のように実際に子育てを体験することや子育てをしている親から体験談やアドバイスを聞くことで不安を解消し、将来家庭を築き、子育てをしていくことに対して少しでもプラスに捉えられるようになるだろう。そして子どもは環境を選べないため親は子どもが健やかに育つような環境づくりをしなければならない。そのために女性も男性も関係無く、誰もが子育てに関する知識とスキルを身につけ、温かい家庭を築くことが大切であることを改めて理解することができた。知識とそれを活用する場がその人をより一層成長させるため、今はコロナウイルスの関係で訪問などが難しくなっているが子育てを体験する機会があれば積極的に参加したいと考える。</p>

12	<p>①動画視聴しました。</p> <p>②動画視聴しました。</p> <p>③事業の紹介・座談会についての動画を見てみて、訪問して子育て体験ができることによって子どもたちそれぞれの実態を理解することができたり、学生自身も、子どもたちの考え方に沿って、行動しながら考える大事さに改めて感じるができると思いました。子育てに必要な知識や、行動すべきことも知ることができることや、子育てに関する話を聞くことができるいい機会でもあるので、魅力であると感じました。大切なこととして、学生自身が子どもたちと遊ぶおもちゃを考えて購入して遊ぶことができるので、持ってきたおもちゃをみた子どもは、そのおもちゃで遊んでみたいという気持ちになると思いますし、学生自身のモチベーションにもつながると感じました。育児に関する不安を少しでも解消できる場でもあると思いました。育った環境によっても、子どもたちの実態が違いますが、子ども一人ひとりと向き合いながら関わりを深めていくことも必要であると思いますし、全体をみて行動することも必要であると改めて感じました。今後も、子育てに真摯に向き合うことを考えながら将来に活かしていけるよう子育てについての情報を集めていきたいと思います。</p>
13	<p>実際の子育て、生活の中に入って家庭を体験することで、新たな発見や間近で見るからこそその学びがあるのだと感じた。子どもと関わるだけでなく、実際のパパ、ママからの話を聞くことができるため、日々の楽しいことや、つらいこと、悩みが知れて理解が深まると思った。結婚や子育てについて知らないことや不安な事があるこの時期に、実際の現場を見て体験することで、前向きな考えになると思った。</p>
14	<p>この事業を聞いたときにまず去年受けた赤ちゃん先生の講義を思い出しました。子育て支援施設などでの学生主体のボランティアとなってしまうとやはり活動をやらなければ、上手くいくかななどの使命感が強くなってしまいますが実際に家庭訪問をするということで自分自身もリラックスできとても身近に子育てを感じる事が出来るように考えました。</p> <p>私も兄弟ももう大きい小さい子がいる親戚も周りにいないので、小さい子がいる友達をととてもいいなと思っていました。やはりその周りに小さいこと関わる環境がないのでそれを経験できるという機会がとても魅力的に感じました。</p> <p>保育士になるにあたってやはり、新任の時は家庭をもっていないので想像がつきにくい場合が多くあります。しかしこの経験をすることでこの活動を思い出しながら保護者の気持ちにもできるだけ精一杯寄り添えるのではないかと思います。</p> <p>実際に家庭に行くことは保護者の生の声を聞け、どんな不安を抱えているか、どんな思いがあるのかすべて生で聞けるということがとても魅力的だと感じました。赤ちゃん先生の時にも保護者からのお話はとても興味がわき、ころころときめいたのでとてもこの活動に興味がありました。</p>
15	<p>子育てしている親の話を実際に聞く機会はあまりないのでとても良い経験になると思います。子育て真ただ中の保護者の話を聞くことで、自分が子育てをする際に役に立つことがたくさんあると思います。良い事業だなと思いました。</p>
16	<p>この動画を通して、「1日パパ・ママ体験事業」という取り組みが行われていると言うことを初めて知りました。学生が子育て中の家庭を訪問し、育児を体験するのはすごく貴重な体験だなと思いました。普段子どもと深く関わる機会のない学生にとってはありがたい事業だと感じました。また、現役の保護者の子育てや出産に対するリアルな声を聞けるので、漠然とした育児のイメージを明確に持て、子育てに前向きに考えられるきっかけになるのは素敵なことだと思います。兄弟の年齢が違い「遊び」の違いに悩むなど家庭の育児を体験するからこそ見えてくる苦労や良さがたくさん見つけられるなど、見ていて思いました。家庭での子育ての様子や子育ての良さや大変さ、子どもとの遊びを通して、ライフ設計の中で結婚や育児の位置付けを考えるきっかけになるなと思いました。教育学部の大学生だけでなくたくさんの学生に参加してほしい事業だなと思いました。</p>

17	<p>こういう活動を通してじゃないと実際の家庭に訪問して、子どもと遊んだり親御さんと話したりと家庭のリアルな雰囲気味わえる機会はないと思うのでとてもいい活動だなと思いました。子どもの保育園や幼稚園では見れない姿が見れたり、結婚生活や育児などの不安なども直接聞くことができる点がいいなと感じました。</p> <p>またおもちゃや絵本などをプレゼントして持参するという点も活動の前から色々な考察をして臨める上に、子どもや親御さんたちとの距離が縮まるのではないかと感じました。私自身、結婚生活や育児に対して不安だったり漠然としたイメージしか湧いていないので参加することでもっと細かく、いいイメージが持つことができると思うので来年度実施される場合には参加したいなと思いました。</p>
18	<p>①②視聴しました。</p> <p>③私は、兵庫県に住み、神戸の大学に通って、保育を学んでいるけれど、このような大学生の子育て家庭訪問といった事業が行われていることを今回初めて知りました。実際に家庭に行って日常の様子を見たり聞いたりすることで、ごく一部かもしれないけれど、どのような家庭環境があったり保護者の方の悩みや気持ちを知ることができたりして、実際に保育者となった時に共感できる部分やより親身になって話が聞けるのではないかと感じました。また、私たちが第三者の目から見て、お母さんお父さんって大変そうだな。というようにマイナスに想像していることも実際話を聞いてみるとそうではなかったり、その反対に私たちが気づかないようなことに不安や苦勞を抱えてたりしていることを知る機会だと思いました。保育を学んでいる学生として、実際に保育の現場に出るまでにこのようなリアルなお母さんやお父さんの話を聞く機会はないので、貴重な体験ができる場だと感じました。また、漠然とした育児へのイメージがより具体的なイメージに変わり、保育の現場でも保護者の方へ、より具体的な援助ができるようになると考えました。</p>
19	<p>この事業があることを初めて知り、私もぜひ参加してみたかったと思いました。今は、大学生で子どもと関わる仕事を目指しているので、ご家庭での子どもたちの過ごし方を知っておきたいということ、小学生未満の子どもと関わる機会がこれまでとても少なかったので関わってみたいという思いがありました。また、私生活では、周りの同年代で赤ちゃんが産まれたという話も増え始め、私も子育てに関して意識し始めてきた頃だったので、実際に不安や楽しさなどのお話をママさんたちに聞いてみたいと思いました。私は、赤ちゃんを産むことに不安があり、また子育てと仕事との両立はできるのかという不安があります。座談会の話聞いてポジティブにみなさん気持ちの変化が現れていましたが、私も実際に伺い、体験して話を聞きたいと思いました。</p> <p>この事業自体はこれからママさんパパさんになるであろう1番近い歳の大学生を対象として、現役のママさんパパさんのお話を聞くことができたり、子どもと触れ合ったりすることができるのでリアルなそれぞれの家庭事情を知り、体験することができる良い機会だと思うし、これからの子育てに役立つと思います。</p>
20	<p>とても良い事業だと思った。右も左もわからない子育てをいきなりするより、このような機会を通してどんなものか感じることは良いと思う。</p>
21	<p>学生の間では母親や父親になることはあまりないのでこのような体験をすることで子を持っている親の大変さを知ることが出来るのでとても良い体験だと思います。</p> <p>子育てを軽く見ているということはないとは思いますが、実際に行ったことがないので子供たちがどのような行動をしてしまうのかがわからない。それを1日体験すると実際に幼稚園や学校に行った子供がどのように過ごしているかを知ることが出来る。学校や幼稚園の間の子供たちを見ることはできるので、それ以外を知ることが出来るこのプロジェクトは活気的なものだったと思った。実際に行ってみたかったができなかったのが残念。</p>

22	<p>本来なら結婚して、出産をしなければ経験することのできない“子育て”ということ、自分が結婚、出産する前に体験できることはとても良いと思った。この経験することによって、結婚に対するイメージや考え方が良くも悪くも変わることがあると思うし、子育てに対しても、漠然としたイメージから実際の姿を想像できるようになると思う。子育てを通して大変なことから、楽しいこと、やりがいを感じるなど、実際に今している人でなければ感じられないことを教えてもらえるし、体験することができるので、この事業にはとても興味を引かれた。この経験を通して、学べることが沢山あると思うし、実際に自分が母親になったときに役立つことがあると思う。なので、この事業はとても良いと思ったし、参加してみたいと思った。</p>
23	<p>今回の学習を通して1日パパママ体験事業というものがあることを初めて知りました。私も含め、多くの大学生は小さい子どもと関わる機会は少ないと思います。小さい子どもと関わる子どもでき、保護者の方の思いや関わりを間近で見ることができるのはとても貴重だと感じました。まだ子どもを産んで育てたことはないのですが、ママ体験をすることによって思いもよらない苦労や嬉しさを感じることができ、保育者を目指す上でもこれからママになる自分にとってすごく良い体験だと思いました。</p>
24	<p>この取り組みは女性だけではなく、男性も参加するべき取り組みだと感じた。だれもがパパママになりたいと感じていて、誰もがあこがれるものだと思う。しかし、パパママになると言っても何をすれば良いのか初めてでは分からないことだらけである。この取り組みは実際のママさんにお話を聞いたりお子さんとふれあったりと貴重な体験ができる。実際にママさんとお話することで不安がなくなったり、パパママとしての心構えなども今から持つことができる。イクメンという言葉がはやったようにこれからは男性の育児も進んでいくことだろう。こういう取り組みから虐待がなくなったり、現在日本の課題が減る一つの取り組みになると考える。</p>
25	<p>この動画を視聴してこの事業の取り組みは学生も家族もいい影響を得ることができる活動だと一番感じた。保育園とは異なり、家庭でのリアルな子どもの様子や人間関係を見ることができたり、子どもの1日の活動の流れが分かる面では、勿論学生にとって大変貴重な体験ではあるが、保護者やその家庭も、普段の子どもの様子とは少し違ったところが見れたり、遊びのレポーターの共有ができ良いと思った。また、動画にもあったように育児への不安を抱く人が多いことが再確認できたが、この不安は経験していないからこそより感じるものであるが、こうして少しでもリアリティのある育児の様子やその体験ができるのは本当に貴重なことなので、参加してみたかったと思った。</p>
26	<p>この事業は私はとてもいいと思います。実際保育者として働く際に、子育てを体験することで、保護者の大変さや悩みなどを実際に知ることが出来るので、保護者に少しでも寄り添うことができると思います。話を聞いたりするだけでは理解し難いことも沢山あると思いますがこのように、実際に体験することで理解することが出来たり、すこしでも何かの役に立つと思います。また、実際に自分でおもちゃを選んで遊ぶというのもとてもいい体験だと思いました。どのような年齢の子がどのようなおもちゃが好きでそのおもちゃをどのような使い方して遊ぶのかなどということを知ることで子どもにも寄り添うことが出来ると思ったからです。</p>
27	<p>③ゼミを決める際の大城先生との面談時にこの事業のお話を聞いており、とても興味を持っていました。動画を見て、ベビーシッターと似ていると感じました。おもちゃや絵本などを選ぶのは、子どもと実際に会っていないので難しいと思います。私が実習に行った園では、2歳のクラスの子どもが3.4歳向けのしっかりした物語(短め)を読んでいたりと、1歳向けの擬音語がたくさん並べられた絵本を好む子どももいました。それらを踏まえて、余裕があれば年齢に合ったものから少し上下するものも用意して欲しいと考えます。今年体験できないのが残念です。</p>

28	<p>パパ、ママ一日体験はイメージも膨らみとてもいいと思った。もし結婚して子どもを授かると育てられるのかという不安があると思います。しかし授業を通して、体験させてもらったり、実際に子育てされている方の声を聴くことでイメージもより膨らみ、大変さや育児のコツがよく分かると思いました。また、座談会で学生が話していたように結婚に対して良いイメージがないと言っていた学生も一日体験を通してイメージが変わったと言っていたので経験するだけでなくそこから自分の考え方も変わったりするのでいいと思いました。自分も機会があれば参加してみたいと思いました。</p>
29	<p>③ ①②の事業をみて、とても貴重な体験ができるいい事業だと感じました。実習などを通して、さまざまな子どもと関わることはあるが、家庭での動きや、様子をみれる機会はあまりありません。今、現在女性は子育てや、結婚などに不安や、悩みがあると思います。わたしも、そのうちの1人です。また、その事態は、晩婚化、少子化などの社会問題につながる原因であるとも考える。したがって、違う家庭をみることで、子育ての様子を少しでもイメージできるだけで、気持ち、不安も和らぐと感じます。実際自分でみて、経験体験できるのは、大事なことだと思います。もし、機会があるならぜひ参加したい事業であると感じました。</p>
30	<p>私はこの事業があることを初めて知りました。モトロクやキットのような一つに場所に親子が集まり、そこに学生がボランティアとして参加するというのはよく聞かすが、家にお邪魔させていただくこの事業はとても貴重な経験になると思いました。家で子ども達の姿や育児を間近に見て体験ができ、またお父さんお母さんにお話が聞くことができるので学ぶことがとても多いと思いました。育児だけでなく健康して家庭を築くことについても学べると感じました。私は5つ離れた妹がいるので妹が幼かった時の親の育児を見ていたが、当然自分の時はわからないし、また今実習に行き大学で学んでいるのでいま育児をしていく家庭を見ると得られるものが多く、今後にも生かすことができると感じます。この事業に参加してみたかったです。</p>
31	<p>今回の授業で事業紹介の動画や新聞を見ての感想は、一般家庭で子育てを体験するという事業でとても子育てに対して実感が持てる事業だと思いました。今の若い人たちの結婚や子育てに対するイメージなど、もっと良くなっていくきっかけにもなると思います。実際に一般家庭に入らせていただいて、その上で保護者の方にも色々なことを質問できるなど、学べることが多くて素晴らしいと感じました。神戸常盤大学の先輩方も参加されており、とても羨ましく思います。そして兵庫県と神戸新聞社がタッグを組んで、積極的にこのような事業を行っていることに対して、大学生のためにもとても必要な事業だと思いません。これからももっと積極的にこのような事業を行なってほしいと感じました。</p>
32	<p>私は1日パパママ体験見てそんなものがあるのだと知りました。他の家庭に行き、おもちゃを選び子ども達と遊んだりするということがあることを初めて知りました。その中で子ども達どのようなものに興味を持っているのかやおもちゃを選ぶ際にはどんなのが興味があるのかを確認したり相談しながら家族とか関わることがすごく良い体験でいい体験だと感じました。また、その体験ではなくて、家族とのコミュニケーションやママ友のことについてなど色々なことにも目を配りながらできるのでこの体験はもっと色々な場所に発信してみんなが体験できるようになれば良いなと感じました。</p>
33	<p>子育て体験って普段なら絶対できないことだから私もやりたかったなって思いました。保育園でのアルバイトで子ども接する機会はあるけど、それはあくまで保育者としての体験であり、子育てとはまた違います。親戚に小さい子がいるため、少しは体験してきたけど、この歳になって子育て体験はしたことがないので、本当にいい体験だと思いました。出産のことや、結婚の話を知ることがいいなあって思ったし、ママ、パパと直接話をし、家庭的な雰囲気を感じることがとても良い経験だと感じました。子育てをするうえでなにが大変なのか、しんどいのか、やりがいはいつ感じるのかなど、私が保育者になった時にも生かせることを学べると感じました。子育て体験は学生の間しかできないと思うし、これからママパパになる人にとってとても良い事業だと感じました。</p>

34	<p>文字や言葉での学びは、実習やボランティアなど実際に保育の現場に行っこそ、自分の学びや経験として残ると感じている。</p> <p>一日パパママ体験は、実習やボランティアとは違い、子どもにとっての安全基地での子どもの様子や遊び方を体験することができると感じた。</p> <p>一日パパママ体験に行く理由は、結婚に対して前向きな考え方を持つためもあり、子どもとの関わりとしての体験をたくさんするためもありなど、様々であると思う。責任感を持ち前向きな姿勢の態度で行うことは必要であるが、少しでも興味があると感じる人は行ってみるべきであるし、私も行きたいと感じている。</p> <p>学生にとって子どもとの関わりは、保育者になった時や実際に自分が親になった時にとっても役に立つことであると考え。結婚や子育てに対してプラスなイメージだけでなくマイナスなイメージを持つ事もあると思うが、何となくで感じるマイナスなイメージと実際に体験して理由があるマイナスなイメージとでは、子育てをしている人への関わり方が変わると考える。自分の子どもが見ず知らずの人と関わることを嫌と感じる親は少なくないと思う。そんな中、子育てをしらない学生が実際の家庭に行くことができることは貴重な体験であると、今回の講義で私は一日パパママ体験に対してとても好印象を受けた。</p>
35	<p>一日パパ・ママ体験授業は保育関係の施設に実習しに行くのではなく一つの家庭のパパやママになりきった気持ちで行う事業なんだとわかりました。実習では大勢の子どもを見ながら保育をしていくし、家庭での環境とも違うので対応の仕方や一緒に遊ぶみたいなのは実習とは違う感覚だと思います。この事業で行ったことはパパママにならないとわからないことなので、この体験は凄くいい経験にもなると思いました。保育者目線ではなくパパママの視点から子どもも見れるし親の人とも深く関わっていけるので親が何を思っているのかやどんな雰囲気で行っているのかが理解できるなと思います。</p>
36	<p>①動画を視聴 ②動画を視聴 ③二つの動画を視聴してまず初めに感じたことは、子育ての大変さや子どもの実態というものを、実際に自分自身で見たり体験できなかったことが残念だなと思ったことです。一日親になるという体験はとても貴重だと思うし、その場での現役のお母さんのお話や子どもとの触れ合いを大切にできていた学生さんを見て、素敵な時間だなと思いました。また、子どもの年齢やその差によって、大変なところが違ったりと、親の臨機応変な対応が大事になってくるのがとても伝わってきました。私は三人兄弟で、私と一番上の兄が10歳、真ん中の兄が7歳と歳が離れています。この歳が離れた兄弟を持った親が、三人とも不平等にすることなく、ここまで安定に育ててこられたのは、どのような事を大切にしてきたからなのかなということを感じてみたいなと思いました。</p> <p>そして、私は一応結婚願望というものがあるので、もし、将来子育てをするにあたって、どのようなことを一番大切に子どもを育てていきたいかなど、自分自身の軸となるものを考えられるような母親になりたいなと思いました。また、夫婦でしっかりと助け合うことや、お互いの理解を十分にすることができるように心がけ、子どもにとって恥ずかしくないお母さんを目指していきたいと感じました。</p>
37	<p>動画を視聴して、「一日パパママ体験事業」を試してみたかったと思いました。体験をすることで、訪問したお宅によって違いがたくさん見えると分かりました。例えば、母親だけが育児をしているのか、両親ともに育児をしているのか、兄弟関係（年齢差、性別）などがたくさん分かるなと思いました。色々な家庭に行ってみることでお母さんたちがどんな風に育児をしているかが分かるなと感じました。</p> <p>実際にお宅を訪問するとお母さんたちの色々な本音が聞けたり、自分の将来を考えられる機会だと思いました。</p>



38	<p>この取り組みはすごくいいものだと思う。子育てに対する意識や考えが変わると思う。私はアルバイトを通して。これに似たような体験をしている。子どもの遊ぶ様子を見守っている保護者の方に話をかけ、成長のこと、家庭でのことなどを話している。よくバイト先に来てくれる顔見知りの親子は、「旦那が単身赴任で、、、」などと家庭のことや、子育てのことなど詳しく話をしてくれる。その影響もあるが私は子育てをすることが楽しみで仕方ない。逆に「子育てがしんどい」という話を聞くと、子育てをしたくないという思いになるかもしれない。どちらにしろ、将来像を明確にするためにもこういう機会はすごく大切だと思う。私も参加したいと思った。</p>
39	<p>③ ①②を踏まえ、私は本事業に参加し体験してみたいと感じた。</p> <p>理由は、本事業を通し、結婚や子育てを身近に感じ、体験することができるからである。それに、本事業を体験することにより、将来、保育士として子育てについて保護者の方から相談を受ける際にも役に立つことだと感じたからである。</p> <p>保育実習などでは、体験できないことも動画を通して多く学べるということが理解できた。子どもの歳が2歳、5歳、7歳と離れており、どのように一緒に遊ぶか悩んだとあった。このような子育てを、保護者の方は、工夫して行っているのかなども実際に体験し、質問をすることができ、普段の授業や実習では学ばないことも多く学べると感じた。</p> <p>以上の理由から、私は本事業に参加し、普段はできない体験をしてみたいと感じた。</p>
40	<p>1日パパママ体験の動画、資料を見てまず初めに感じたことは編集がすごく凝っていたなという事でした。編集が凝っているという事は神戸市、すきっぷの方々それぞれ力を入れている事業なんだなと考えられると思います。</p> <p>この体験は保育士を目指している保育学生にとっては家庭支援につながっていくのかなと思います。大学を出てすぐに働くとなると家庭を持ったことがない状態、自分の家しかわからないような状況で一人のプロとして働かないといけないわけで家庭支援というのはとても難しいことだと思います。ですがこの体験をしておくことで家庭というものをイメージしやすくなると思います。</p> <p>我々保育学生以外の人でもこの事業はとても価値のあるものだと感じました。動画で出てきていた大学生の方の意見でもあった「結婚にいいイメージがなかった」「子育ての間の部分」などのマイナスのイメージを払拭してくれているような気がしました。そのマイナスイメージを付けたのは世の中の育児に協力しない男共のせいなので複雑ではありますが。そんな男にこそこの事業を体験させることで子育てはこんなに大変なんだ、こんなことを奥さん一人に任せていたのかと反省させる機会になればいいなと思います。もしそんなことを感じない男でも楽しかったという記憶が残れば自分の子供にももう少し目が向くきっかけになると思います。</p>
41	<p>今回、「一日パパママ体験事業」の取り組みについて初めて知ったため、こんな体験ができる取り組みがあるのかととても驚きました。それと同時に、素晴らしい取り組みだと感じました。子育てというものは、若者にとっては未知の存在であり、不安に思う若者は多いと思います。子育てといえば、自分の両親から聞く自分を育てた時のエピソードで触れるぐらいに思います。しかし、その頃に比べれば環境や社会は大きく変化しています。そのため、今の社会で子育てをしている方々から直接お話やエピソードを聞くというのは、目標や計画を立てやすく、不安も和らぐことと思います。私も、このような事業に参加してみたいなと思いました。</p>

42	<p>活動を始める前はみんな不安がたくさんあると思いますが、しっかりと経験をすることによって自分に出来ることとまだまだ足りないということを理解することができます。それに加えて、保育の実態とはどのようなものなのかということをも身をもって感じとることで自分の夢へのモチベーションも上がってくると思うので、経験ということはやはり大事であるのだなと感じました。</p>
43	<p>③</p> <p>「一日パパママ体験事業」というのをこの講義を受けて初めて知った。実際に家庭での育児を体験することで、実習で行く保育所や幼稚園とは違う子どもの育て方の視点を持つことが出来ると思った。</p> <p>この事業の中でいいなと思ったのは、お母さんやお父さんから直接話をする事が出来ることである。保護者の方から直接話を聞くことが出来る機会はあまりない。疑問に思っていることや自分が聞きたいことを、実際に育児をされている方から聞くことが出来るので、これから保育をする立場になった時や育児をする時に役立つことが出来ると思う。動画内で先生もおっしゃっていたが、育児の楽しさや辛さを知った上で人生の設計プランに「育児」というも考えていけるようにするという、事業の意義について感銘を受けた。座談会でも先輩がおっしゃっていたように、育児は少し暗いイメージが私もある。その考えを覆してくれるようなこの事業は、凄いなと思った。また、おもちゃのプレゼントはいい考えだと思う。自分達で考えて選んだおもちゃで遊んでくれる姿は嬉しいし、保護者の方と相談しながらおもちゃを決めることが出来るというのは良いなと思った。</p> <p>座談会での話の中で、「子育てや結婚に対してのイメージが変わった」とあった。実際に家庭での育児を体験したり、お母さんやお父さんからの話を聞いたりして起こる事だと思うので、私も体験してみたいなと思った。</p>
44	<p>子育ては忙しい、大変というイメージから子育ては一人ではなくみんなで支え合って育てていくものだ、といったふうに子育てへの先入観が変わるいいきっかけになるのではないかと思った。ただ、想像以上に子どもはアクティブだということや、言うことをなかなか聞いてくれないなど、可愛いと思うことはあってもそれが家の中で毎日となると大変そうだ、という考えは変わらなかった。やはり、意思疎通の難しい子どもを見ながら掃除や料理などをしなければならない点が、とても大変だなと思う。子育てをするということは、ある程度の覚悟がいると感じた。</p>
45	<p>動画を見て、「一日パパ・ママ体験事業」というものを初めて知りました。保育園、幼稚園は実習を通して、雰囲気などが分かりますが、子育ては実際に見たことがあまりないので、子育てが見られるというものは、とても貴重な機会だと感じました。授業を通して、保育士、幼稚園教諭にとって、子育て支援はとても重要だと学びました。しかし、子育てを経験したことがないと支援することも難しい部分があると思います。そのため実際に少しでも子育てについて触れ、実際の声を知ることが出来るのはすごくいいことだと感じました。実際に触れることでの将来、子育て支援につなげることが出来るようになると感じました。また、子育てを見ることで自分自身の将来についても考えやすくなると感じました。教育学部の学生でも、普段から子どもと接する機会が少ないので、教育学部の学生だけでなく、一般の学生も参加できれば子どもがいる生活を想像でき、子どもとの将来を考えやすくなるのではないかと思います。少子化対策にもつながるのではないかと感じました。</p>

46	<p>今回の学習では一日体験をすと言ったことでした。私達若者は子どもの子育ての経験や子どもとのどのように接したらいいのか、どのように支援したらいいのかと言う支援の仕方をあまり熟知せずに私たちは教える側、支援する側といった環境に置かれます。時には親子さんなどのトラブルの中で私たちの経験不足といったものも生まれてくるかもしれません。なので今回は私自身一日体験を是非行いたかったです。</p> <p>ですが、動画を視聴できたのでイメージは少しでもできました。まず子どもを育てるといったことはとても能力や浪費がとても多いです。なので子どもを作らない家庭も多いことを学びました。結婚したいといったパーセンテージが高かったのでびっくりしました。</p> <p>私達教育や保育の仕事では、これからの世の中少子高齢化社会や育児離れといったように保育や教育も変わっていくと思われれます。なので我々も日々向上し、そして臨機応変に対応する力がとても大切だと思えます。</p> <p>なので家庭の支援との連携、そして教育現場では地域、児童館との連携を図り子ども達がよりよく育て個性を尊重しつつ、協調する楽しさといった一喜一憂できる教師になりたいと思えます。</p>
47	<p>今回の課題で1日パパママ体験事業というものがあることを初めて知りました。実際に家庭に訪問してもらい、子育ての一部を体験したり、保護者の方の話を聞いたりすることで、普段は聞くことのできない子育てに対しての大変なことや困っていることを聞くことができる事業だと感じます。このような事業があることで、事業を体験する前よりも、保護者の方へどのような支援をしたらいいのか、また、どのような支援ができるのかを考えることができると感じました。</p>
48	<p>このような事業があることを知らなかった為知ることができてよかった。そして今年参加できなかったことが悔しく感じた。2年生の時に参加した「赤ちゃん先生」とは違った経験ができると思った。子育てをより身近に感じることができ、大変さや楽しさを身をもって感じることでできる事業だと思った。1日子育て体験をしたり、保護者から大変なことや悩みなどを先生と保護者という関係ではなく、体験に来た学生と保護者という関係で聞けるのはこの事業に参加しないとできない為、とても貴重な体験だと思う。また、保護者の生の声を聞けるため保育者として働いているだけではわからないことが直に聞けたり、学生の立場から質問できるため有意義な時間を過ごせそうだと感じた。実習とは違う学びができると思う。</p>
49	<p>①では、この一日パパママ体験を行うことで普段私達が実習で見ることのできない兄弟の様子を見ることができたり、兄弟同士だからこそ直面する課題(この動画でいうと、お兄ちゃんはドンジャラができるけど、弟はトランプぐちゃぐちゃにすることが楽しいと思う年齢でルールがまだ理解できないという課題)に気づくことができる。また子どもの様子だけでなく、なかなか関わることでできない保護者の方の様子を見ることができてとても良い機会だなと感じた。私の中で育児は母親が行っているイメージの方が強いので、これを機に父親の育児する姿も見れるのであれば、母親と父親の子どもとの関わり方や育児の違いに気づいたり知ることができたりするんだなと思った。私達が思いもなかった子育ての悩みや課題について保護者の方から聞くことができるので自分もやってみたいなという気持ちが強くなった。大学の先生方にも聞けない妊娠から出産の話や結婚後の話を聞くことができたり、子育ての大変さや難しさを直接生の声として聞くことができるととても貴重な経験ができると思う。②の座談会では、一日パパママ体験中に自分がどうしたらいいのか分からなくて困った時にどう対応したのかを改めて思い出し、課題の解決方法を再確認する良い時間になると思う。また再確認は課題の解決方法だけでなく、保護者の方に聞かせていただいた貴重なお話もこの座談会で話すことで「保護者にはそんな悩みがあったんだ」という新たな発見にも繋がる。座談会の時間を設けることで、自分が行かせていただいた家庭では体験やお話を聞くことができなかった内容を聞くことができる。以上のようなことから、現在のコロナが落ち着けばぜひ私も一日パパママ体験を行ってみたいと強く思った。</p>

50	<p>文や言葉で伝えるだけでは限界があり、実際に身をもって体験することで分かることや、こうしてあげれば良いのではと思えるのだと感じました。私もぜひ参加してみたかったです。</p>
51	<p>①視聴しました。 ③すごく貴重な体験だと感じた。私たち対象として関わる「家庭」・業務内容＝保育士の責務である「子育て支援」についてはやはり座学では学べないし、就職しても中々見えないものがあります。就職時に子を持つ保育士さんは少ないと思います。にも関わらず家庭を支援していかなければなりません。その時により多くのものが見えるためには、この活動は貴重だと思いました。保育士は保育のプロであるが、ママ・パパとしてのプロではないと思います。 保育園に来る親が抱える物とは、保育と子育ての違いとは。これらのことが沢山見えてくる良い活動だと感じました。またどれだけ大切に思われている「子ども」を私たちが預らせてもらうかも知れる良い機会だし、子育てに関して家庭を巻き込んでいくには欠かせない活動だと感じた。</p>
52	<p>「一日パパママ体験事業」の活動を知って、本来子供が生まれてから知る事である子育ての、実態や苦悩を知る事が出来る。 子育ての中で子供たちには、この体験するお兄さんお姉さんはどのように映るのだろうか。そして、活動中には、体験者はどのような気持ちになったのだろうか。子どもを育てることは簡単ではなく多くの保護者が「苦労した」と口にする。しかしそれがかすむほどの、幸福をくれるのもまた事実だろう。「一日パパママ体験事業」の活動を通して、親になることの大切さや、子どもに対する接し方が学べるのは本当に良いことだと感じた。</p>
53	<p>2つの動画を見て、このような体験があることを知って私たちにとってとてもいい経験だと思いながら動画を見ていました。結婚に対していいイメージが強かったり結婚したいと思っている人たちからするといろいろと結婚についてのことや子育てのことについてのことなど聞けるし、動画内でも言っていました結婚に対する印象があまりいいと思っていない人でも実際ママさんやパパさんの経験・実体験を聞けば印象が変わるかもしれないし、子育てに対する不安を抱いていても話を聞くことで少しは不安がなくなるのではないかと思います。また、自分たちが母親の立場になった時もそうですが保育士や幼稚園教諭になったと考えて実際のお母さんやお父さんに保育園幼稚園への思いや期待することなど聞ける範囲で話が聞けるなら将来の役に立つと思いました。どの角度から見ても今後の私たちのためになることばかりでとてもいい機会だと思いました。</p>
54	<p>子育てをする家庭に実際入ってみて、子どもと関わることで家庭での子どもや保護者の取り組みが見えて素晴らしいと感じた。園での取り組みから保護者をお願いする立場となった時に、家庭での背景を知ることにより良い連携が作れると考えられる。また、おもちゃ選びがとても楽しそうと感じた。訪問する子どものことを考えながら、楽しんでもらおうという思いを込めたおもちゃ選びに学生の思いが形にできると感じた。子育てを通して結婚への意識が変わった人もいて、自分自身はあまり「結婚したい！」と思うことがないのでこのような機会に心の変化が現れるのかなと感じた。</p>
55	<p>1日パパママ体験事業というものがあることを初めて知りました。私も3歳以下の子どもと関わる機会は実習以外に無かったので、実際に子育てをしている家庭に訪問することが出来るのは本当に貴重な体験だと思います。訪問する家庭によって、子どもの人数や年齢が異なると思います。座談会でお話されていたように、年齢が離れている家庭では玩具や絵本を選ぶのも大変だと思います。年齢によって興味を持つものや話の内容が異なると思うので、みんなに喜んで貰えるものを選ぶというのは難しいと思います。子育てについても子どものことは可愛くても、イメージが出来ないので不安はあります。実際にお父さんお母さんの話を聞くことが出来るのは、子育てのイメージを膨らませることができると思うので今回体験できないことを残念に思いました。保育者として働く時に子育て支援は必要な事だと思うので、実際に子育てをしているお父さんお母さんに、大変なことや困っていることなどの話を聞くことは良い経験になると思います。機会があれば参加してみたいと思います。</p>

56	<p>私は、大学で「一日パパママ体験事業」という活動をしていることを知らなかったので、この活動はきっと自分の将来のためになり、新しい知識を得られるのではないかなと感じた。私も実際にこの事業を体験してみたいなと思ったし、普段主によく関わっているのは小学生なので、乳児などの小学生以下の子どもたちとも触れ合うことで、違う角度からの子どもの接し方や、関わり方を学ぶことができるのではないかと考える。そして、小学生になる前の子どもたちと関わることで、将来私たちがなりたいと考えている教員としての在り方について、新しい発見ができるかもしれないし、小学1年生と関わる時のコツを知ることができると思う。</p> <p>実際に自分の子どもができる前に、このような体験をすることができるのは、本当に貴重なことなんだと思った。</p>
57	<p>保育所や幼稚園などとは違った子どもとの家庭での触れ合いに参加できるのはまた少し違う考えを持って子どもと接することができるのではと思いました。授業で学ぶ保育と違いそれぞれの家庭に子育ての違いがその一つの例を見ることができると感じました。保育とは違い子どもたちと遊ぶので実習などと比べて緊張しすぎず取り組めると感じました。</p>
58	<p>1日ママ・パパ体験の事業の動画を視聴して、動画でもおっしゃっていたように、学生が将来を考える上で、子育ても頭に入れて考えるといったことにつながるというのはとても大切なことだなと感じました。</p> <p>私たちは保育学生なので、実習やボランティアへの参加をしている為、他学科の学生と比べると子どもと関わる機会というのは多いと思いますが、実際の家庭を見たり、子育てについて生の声を聞いたりすることはほとんどできません。しかし、この事業に参加することで、実際の家庭に入り子どもと触れ合うことができたり、子育ての喜びや大変な経験を聞くことで普段とは違った学びがあり、将来の仕事であったり、実際に自分が親になった時に生かすことができると思います。また、自分たちで玩具を選んで持って行き、遊ぶことで、発達に応じた遊びを展開する力にもなると思いますし、選んだ玩具が子どもに合わなかった場合でも、どこがいけなかったのかを考え改善することで自分自身の実践力や学びに繋がると思います。</p> <p>このようなことから、学生が1日ママ・パパ体験に参加することで子育てにマイナスイメージしか持っていなかった人が、ポジティブな気持ちになり将来の子育てに希望を持ち少子化の現象に繋がったり、子育てへの不安解消に繋がることから、1日ママ・パパ体験はとても貴重な経験であり、私たちにとって大切なことである為、是非参加できる機会があれば参加したいと感じました。</p>
59	<p>この事業は実際に家庭に入って体験をするということで保育所や幼稚園などの様子と違った面が見られるところが良いところだと感じた。子育てに関しては実際に子供生まれてから直面する不安や問題を事前に解消することや、知ることができることは将来への不安をなくすことができると感じた。参加した男子大学生の話も聞いてみたいと思った。</p>
60	<p>この事業では学生が保護者の目線から学ぶことが出来る大切なことだと感じました。保育士を目指す場合、保護者がどんな思いで子どもを育てたいと思っているのか。何を考えているのか寄り添う力も必要です。それは母親だけでなく父親の思いも少しでも知る必要があります。全ての人が同じ考えでなくても知ることで自分の保育士としてどのようにすれば良いのか考えが変わったりするかもしれません。この事業は保護者の目線を1番身近で学ぶことが出来ると思いました。</p>
61	<p>「1日パパママ体験事業」という言葉を私は初めて耳にしました。実際の家庭に入って育児を体験できる事業があることにとても驚きました。大学の授業内容でも、母親になったとき役立つものだったり、子どもと接するにはどうすればいいかなど学ぶことは多かったのですが、実際に家庭に入って体験することも大切だと感じました。なかなか他の家庭のお母さんやお父さんの育児事情を知る機会はないので、すごく貴重な体験だと考えます。私自身、結婚や育児に明るいものではなく、大変・しんどそうというイメージが強かったのですが、今回の動画を視聴して育児を楽しむことができる家庭は素晴らしいと感じました。</p>